



給食ふぁいと

広報紙「おおいた 給食ふぁいと」

編集

広報紙「おおいた 給食ふぁいと」編集委員会

発行

財団法人 大分県学校給食会

大分県大分市古国府字内山1334の3

TEL097-543-5121(代表)

FAX097-545-2264(代表)

ホームページ

<http://www.oita-kenkyu.jp>

広報紙「おおいた 給食ふぁいと」スローガン

ふりそぞぐ あいじょういっぱい いつもげんきな とよのしょくいく

田植え体験～秋の収穫祭へむけて～



大平順治さんです。田植えの仕方について説明してくださいました。

本校区内には新興住宅地帯が広がり、核家族も多く、ほとんどの児童にとって今回が初めての田植え体験となりました。



期日：平成22年6月11日(金) 場所：別府市大平山～大平順治さんの田んぼにて～
別府市立鶴見小学校5年生97名



別府市立
鶴見小学校



総合学習の一環「食について考える」の時間に田植え体験を行いました。
秋には収穫祭を予定しています。
この体験を通して、収穫の喜びや食物の生産にかかわる人への感謝する心を育てます。



食育の取り組みについて

別府市教育委員会教育長

寺岡 悌二

竹田教育事務所 指導主事

渡辺 竜也

P2

平成21年度「児童・生徒の食生活実態調査」報告(1)

P3

わくわく学校訪問 第3回 佐伯市立下堅田小学校

P4・5

安心！安全！おいしい！自慢の調理場へおじゃまして～す！

P6

大分県立別府支援学校 主任学校栄養職員 有田 恵子

新規採用学校栄養職員紹介

P6

給食会役員・評議員名簿

P7

平成22年度 (財)大分県学校給食会主要行事予定表

P8

2学期選定品紹介

P8

食育の取り組みについて

学校給食に関する取り組みの様子など

別府市教育委員会教育長 寺岡 悌二



別府市では、「生きる力をはたらかせ 元気なくらしを拓く 人づくりの推進」を教育目標に掲げ、元気でたくましい別府っ子を育むために、教職員、栄養教諭、栄養職員、調理員、保護者等が一体となって学校教育活動全体を通して連携した取組を展開しています。

当市では、中学校と東山幼稚園・小学校においては、共同調理場での給食調理ですが、小学校14校（幼稚園含む）では、各学校ごとの単独調理方式を実施しております。幼稚園・小学校時期における作る側と食べる側の顔が互いに見えることを大事にした取組は、別府市学校給食の特色の一つと考えています。また、地産地消の意識付けを図るために、月に1回大分県産の食材だけを使い給食を作る日を設けたり、市内で作られている食材を取り入れたりして、栄養面の配慮や給食献立の工夫にも努めています。

学校における食育の取組として、小学校では、子どもたちが給食を楽しく食べるためにランチルームで、

異学年と一緒にテーブルを囲み食べたり、給食集会で、給食をクイズ形式で紹介したり

しています。また、栄養職員や調理員が中心となり、栄養のバランスを教える取組や食事がたくさんの人たちの協力で作られていること等を学ぶ取組も行っています。中学校でも、「ものづくり講座」の中で、「料理・お菓子づくり教室」が開かれ、生徒たちが自分たちの食生活を見つめ直し、正しい食べ方や食べることの大切さを学んでいる学校もあります。さらに、家庭での食事の大切さについて再認識するために、児童生徒と保護者を対象に料理教室を夏休みに開いています。

これからも別府市では、正しい食習慣と安全な食を選ぶ知識や判断力を身につけ、「生きる力」を育むことを目標に、学校給食および学校給食を利用した食育を推進していきたいと考えております。

竹田教育事務所管内における食育の取り組みについて

竹田教育事務所 指導主事 渡辺 竜也



竹田教育事務所管内では、昨年度、豊後大野市が「栄養教諭を中核とした食育推進事業」の指定を

受け、朝地小学校・朝地中学校を中心に研究を進めてきました。取組を通して、食に対しての喜びや感謝の気持ちが生まれ、いのちや健康を大切にしようとする子どもたちが育ってきました。本年度は、昨年度の朝地小・中学校の研究結果を受け、新たに竹田市が指定を受け、竹田市立菅生小学校を中心に食育の研究に取り組むことになりました。

食育の推進にあたっては、各学校に食育全体計画・食育年間指導計画を作成し、栄養教諭・学校栄養職員と連携し、学級活動や家庭科等の各教科における指導、家庭への積極的な情報提供などの充実を図っていただいているところです。

また、竹田教育事務所としては、平成20年度から豊肥保健所が主宰する「豊肥地域食育推進連絡協議会」の一員として、地域における食育関係機関と共に食育の推進、活性化を図る取組も進めています。今年度は学校の協力を得て、食育講演会や親子給食等で「食育コーナー」を設置したり、食育人材バンクを活用しての講師派遣等、保護者や地域の方への普及啓発活動を計画しています。

毎日の給食が、「おいしい!」「楽しみ!」と登校してくる子どもたちの笑顔を、これからもたくさん見られるような学校づくりに取り組んでいきたいと思っています。

この広報誌「おおいた給食ふぁいと」を通じて、さらに食育への理解が深まることを期待しています。

ふぁいと!

平成21年度「児童・生徒の食生活実態調査」報告(1)

大分県学校栄養士研究会では、平成21年6月に県下の小学校5年生と中学校2年生児童・生徒を対象に食生活実態調査を実施しました。今年度、3回に分けてその結果を報告いたします。

第1回は、「朝ごはん」と生活リズムに関する結果を中心にお知らせします。

しっかり食べるために生活リズムの見直しをしましょう。

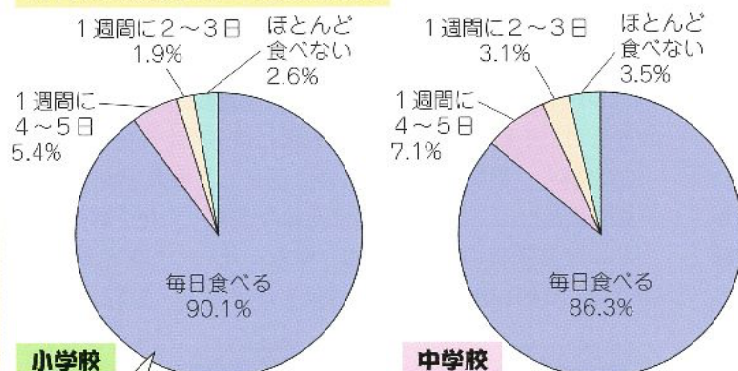


やっぱり
大事!

早寝・早起き・朝ごはん

●朝ごはんの摂取状況

毎日朝ごはんをたべていますか。



小学校

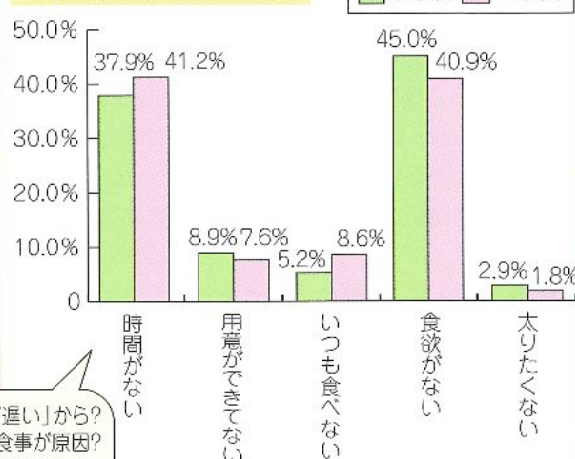
中学校

毎日朝ごはんを食べている児童・生徒は増加傾向にありますが、まだ約1割が朝食を欠食しています。

「時間がない」のは「朝起きる時間が遅い」から？
「食欲がない」のは夜更かしや夜遅い食事が原因？
どちらも生活リズムの乱れに原因がありそうです。

●朝ごはんの欠食は、生活リズムの乱れが原因？

「朝ごはん」欠食の理由

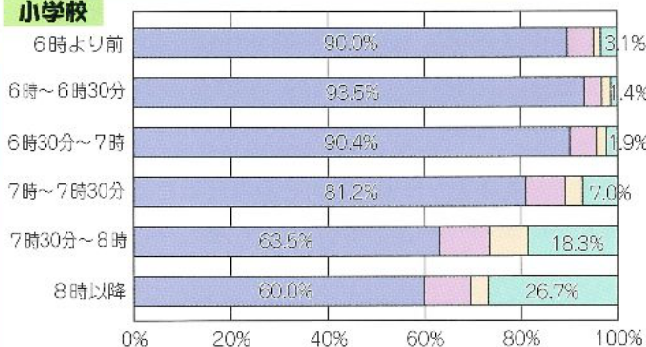


●「早寝」「早起き」は「朝ごはん」も食べる鍵！

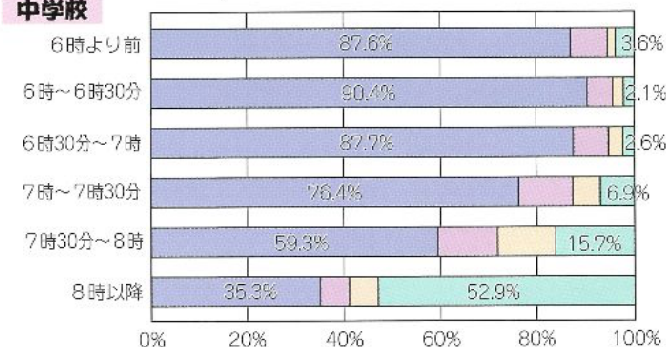
小学生・中学生ともに、早起きするほど、毎日朝ごはんを食べている割合が高くなっています。

「朝ごはんの摂取状況」と「起床時刻」の関係

小学校

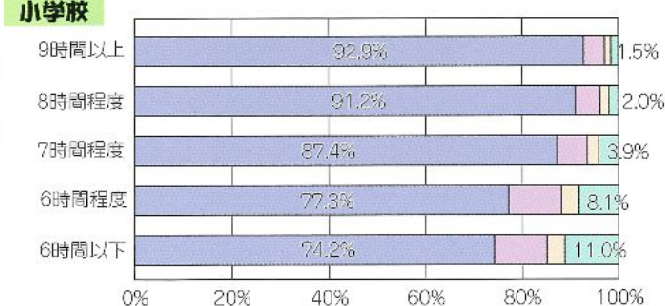


中学校

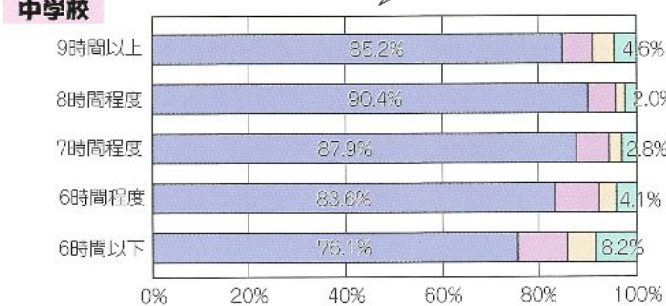


「朝ごはんの摂取状況」と「睡眠時間」の関係

小学校



中学校



睡眠時間をしっかりとると、朝ごはんが食べれます。

1. ほとんど毎日食べる 2. 1週間に4～5日食べる 3. 1週間に2～3日食べる 4. ほとんど食べない

脳を目覚めさせ、朝から元気に活動するための大切な食事「朝ごはん」。朝ごはんを食べるためには、生活リズムをととのえること「早寝・早起き」が大切であることがデータからも明らかになりました。毎日「しっかりおいしく」朝ごはんを食べるために、生活リズムの見直しをしましょう！

次回は「朝ごはんの内容」について考えていきたいと思います。（食生活実態調査の詳細な内容については「平成21年度児童・生徒の食生活実態調査報告書」をご覧ください。）

わくわく学校訪問

このコーナーは、食育に取り組んでいる各学校の様子を紹介します。



校長
佐藤 公武

第3回 佐伯市立下堅田小学校

〒876-1512 大分県佐伯市大字堅田5521
TEL 0972-23-1535 FAX 0972-22-0966
URL <http://sai-simokatata-e.oita-ed.jp/>

本校は7学級148名の小規模校です。子どもたちは堅田川流域にそった13地区から集団登校し、流域に広がる田畑のカエルやトンボをはじめ多くの生きものに囲まれて過ごしています。また、かつて江戸幕府の直轄地であったことから「堅田踊り」や「お為半蔵物語」など歴史的・文化的な遺産も多く残されている地域でもあります。近年は工業団地や福祉施設などが造られ、隣接する街からの転入で新しい住宅も多くなりました。豊かな自然と伝統文化、地域の方々の協育への取組、これらの環境が子どもたちの毎日の学習を支え、心と体を育むベースとなっています。本校の学力調査の結果でも食事や睡眠、地域や家族との関わりが十分に満たされている子どもほど

力をつけている傾向にあります。

平成20年度から大分県学校給食会並びに大分県学校保健会の指定を受けた本校は食育の重要性を改めて認識することとなりました。一年日は食育基本法・食育推進基本計画の決定にいたる経過・背景を探りながら、食育の必要性や指導内容等について研修するとともに、児童の実態について把握してきました。そして、めざす子ども像とはどのような姿なのかを共通理解し、地域の素材や人材を活かした仮説検証授業に取り組みました。二年日はさらに地域の素材・人材を取り入れるための教育課程の見直しに取り組み、地域の作物や収穫時期を吟味しながら各学年の年間計画を作成していきました。

平成21年11月13日研究発表会より

3年生の授業



豆乳を温める温度や、にがりを入れた後の混ぜ方など丁寧に教えてくれました。できた豆腐は甘くて参観の方にも味見をしてもらいました。家庭でもできそうだと好評でした。加藤さんのこれまでのご指導に感謝です。

5年生の授業



自分たちで育てたほうれん草を使って「ほうれん草の白和え」「ほうれん草のバター炒め」「ほうれん草の卵とじスープ」を作りました。市場でお世話になっている地区の方々を招待して食べていただきました。

学校便り「かたらっ子通信」稲作体験より



6月23日(火) 今年も5年生が田植えを体験しました。綱を引いて声をかけ合って何とか植えることができました。水田を提供してくれている岩崎一男さん、お世話をしてくださる岩田政義さん一年間よろしくお願いします。



10月19日(月) 実りの秋です。6月に植えた稲が沢山の穂をつけてくれました。お世話をしてくれている岩田さんから鎌のひき方や稲の扱いなど教えていただき、子どもたちも真剣に取り組みました。ぎこちない格好もしばらくすると慣れてきて、黙々と刈っていました。岩田さん有り難うございます。

食育の取組

いろいろな体験を通して

～全校での取組～

本校では地域の方のご協力で、毎年、米作り(5年)とサツマイモ作り(全校)に取り組んでいます。お米は餅米と黒米を栽培して、全校児童に配ったり、近くの福祉施設を訪問して餅つきをしたりしています。さつまいもは各学年が調理したり、6年生が作ってくれた石垣餅を全校で食べたりしました。

どろんこになっちゃった



大きなお芋になあれ!

～学年での取組～(夏野菜編)

自分たちの手で野菜を育てると、生産する人たちの苦労や思いがよくわかります。1年はきゅうり、2年はトマトとなす、3年はおくら、4年はゴーヤ、5年はトウモロコシ、6年はじゃがいもとトマトなど、一生懸命育てて、みんなでおいしくいただきました。

りっぱなきゅうりができたぞ



野菜のみそ汁だぞ



秋の取組

各学年の取組は、夏の取組と秋の取組の2つの柱で取り組んでいます。1年は「秋見つけ」でむかごごはん、2年は冬野菜でおでん、4年はさつまいもで、6年はさつまいもで石垣餅作りと、各学年工夫を凝らしてがんばりました。

おいしいおでんをつくるぞ



～3年のとうふづくり～

3年は社会の校区探検の際、お世話になった地元の豆腐店の方に来ていただき、豆腐づくりに挑戦しました。なかなかブロのようにきれいにできませんでしたが、ざる揚げ豆腐をおいしくいただくことができました。その豆腐店の製品が給食にも使われているので、給食に豆腐が使われていると、毎回話題になっています。

真剣そのもの



温度計をよく見て…



～5年のほうれん草の出荷～

5年は社会の日本の農業の学習から、有機栽培で野菜を育てて、実際に出荷してみることに挑戦しました。地域のふれあい市場の方に、ほうれん草の育て方や、出荷の時に気をつけることなどを教えていただいて、見事に完売することができました。お世話になった方には、お礼として自分たち

で育てたほうれん草を使った料理を食べていただくことができました。

大きく育ててほしいなあ



みんな売れるかな?



おいしい白和えをつくるぞ



本校の2年間の取組は試行錯誤の連続で決して満足のいくような成果は得られませんでした、「食べる」ことは「生き方」につながる大切な学習ではないかとそれぞれの職員が感じるようになりました。「食べる」ことは生きる力の源であり、それぞれの子もたちの人生を支える土台と言えるでしょう。学習にしても運動にしても「食と生活」が充実していなければ、思うような成果は期待できません。これからも地域の素材・人材を活かした食育を教育課程の中にしっかりと組み込みながら食育を進めていきたいと考えています。

研究担当 岩尾 均

安心! 安全! おいしい! 自慢の調理場へおじゃまして~す!

大分県立別府支援学校

命をつなげる「食」の大切さ

本校は今年度より、県立別府養護学校から県立別府支援学校へと名称が変わりました。

県下に数少ない寄宿舎を併設した学校であるため、毎日学校給食の他に朝・夕の寄宿舎食を含む3食を作っています。児童生徒は以前に比べ障害が重度化しており、摂食・嚥下障害（食べ物が食べられなくなり、また飲みこめなくなること）の子どもたちが3分の1を占めるまでになっています。嚥下障害の子どもたちには安全に食べやすい食べ物を再調理して誤嚥

主任学校栄養職員 有田 恵子



のないように食べさせることが大切になってきます。そのため普通食の他に刻み食・粗ペースト・滑らかペースト等個々の状況に応じて作る必要があります。特に魚については一番神経を使い、皮と小骨部分を取り除き口に残らないよう味付けした出汁を使ってフードプロセッサーにかけ、口に入れて飲み込みやすいように仕上げます。夏と冬は温度差によりペーストの固さが食べる頃と変わるので少し冬は緩めにしたりしています。



本校は子どもたちに喜んでもらえるよう、手作りの桜餅や弁当給食、お楽しみ献立などを取り入れています。弁当給食では何種類ものおかずを弁当箱に詰めていきます。その分の全てのおかずを粗・滑らかな2種類のペーストにしなければならないので作る側も大変です。お楽しみ献立には、子どもたちの好きなメニューを取り入れ、デザートも5種類の中から選択できるようになっています。

このような献立の中にも、季節の野菜（ふき・たけのこ・むかご・ずいき・わらび・ヤーコン・セリ等）を使用して季節感を味わうと同時に活動レベルの低い子どもたちなので排便を考え繊維の多い食材を使っています。

抵抗力の弱い子どもたちの命をつなげるものとして「食」は、健常児に比べてとても大切なものです。嚥下障害が続くとしだいに栄養が摂れなくなり、肺炎などの呼吸障害を併発し、体力が低下して、ますます摂食・嚥下機能の低下をきたします。言葉を発することが出来ない子どもたちだからこそ、きめ細やかな配慮が必要なのです。

私の勤務も後1年を残すのみとなりました。今は1日1日を大切に、常に子どもたちの心の声に耳をかたむけていきたいと思っています。

新規採用学校栄養職員紹介

①氏名 ②勤務先 ③趣味 ④好きな言葉 ⑤思い出の給食 ⑥学校栄養職員となつての抱負



①吉田真知子

②南石垣支援学校

③温泉巡り（別府を満喫しています）

④食べることは生きること！！

⑤魚の煮付け（骨が喉に刺さって痛かった・・・）

⑥日々勉強と思い、わ

からないことはすぐ解決するよう心がけています。おいしい給食を安心して届けられるよう、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



①小高 春菜

②津久見市立津久見小学校

③食べること、散歩

④幸せ

⑤魚のホイル焼き

（子どものころは魚嫌いでしたが、これはおいしく食べていました）

⑥憧れだった栄養職員になれて

ドキドキワクワクの毎日です。失敗すること多いですが、ベテラン調理員さんや他の先生方からご指導をいただき、教わることが多い毎日です。これから、子どもたちに食の大切さを伝えられるように頑張りたいと思います。ご指導よろしくお願いします。

給食会役員・評議員名簿

役員名簿

任期 平成21年5月30日から
平成23年5月29日まで

役職名	氏 名	所属名	職名
理事	廣崎 照子	宇佐市立佐田小学校	校長
理事	和田 義孝	杵築市立北杵築小学校	校長
理事	西本 達男	大分市立南大分小学校	校長
理事	川野 洋二	大分市立王子中学校	校長
理事	峯 喜世子	臼杵市立田野小学校	校長
理事	神田 亮子	竹田市立祖峰小学校	校長
理事	宝珠山 節子	日田市立都築小学校	校長
理事	岡本美枝子	大分県立盲学校	校長
理事	木戸 孝明	大分県立日田高等学校定時制	教頭
理事	工藤 貢	大分市学校給食東部共同調理場	場長
理事	藤原 洋行	別府市学校給食共同調理場	場長
理事	渚 洋行	大分県教育庁 体育保健課	課長
理事	加藤 正和	大分県教育庁 大分教育事務所	所長
理事	秦 希明	大分市教育委員会 スポーツ・健康教育課	課長
理事	赤峰 幹夫	別府市教育委員会 スポーツ健康課	課長
理事	緒方 勝彦	佐伯市教育委員会 学校給食室	室長
理事	甲斐 政徳	竹田市教育委員会 竹田中央学校給食共同調理場	場長
理事	富永 大輔	大分県PTA連合会	会長
理事	渡邊 哲也	大分県農林水産部 おおいたブランド推進課 課長兼 観光・地域振興局 参事	
理事	阿南 正美	財団法人大分県学校給食会	理事長
監事	赤星正與志	大分市立西の台小学校	校長
監事	井上 宜俊	大分市立植田中学校	校長

5月31日開催の理事会及び評議員会において役員の欠員補足及び評議員の改選が行われましたのでご紹介致します。
評議員の皆様のご支援ご協力を宜しくお願い致します。



評議員名簿

任期 平成22年5月31日から
平成24年5月30日まで

氏 名	所属 職名
渡辺 文人	大分県教育庁体育保健課 食育推進班指導主事兼主幹
木元 孝功	大分教育事務所 次長兼指導課長
西口 幸晴	宇佐市教育委員会 学校給食課 課長
橋本 豊博	国東市教育委員会 国東学校給食センター 所長
仲村 善彦	津久見市教育委員会 学校教育課 課長
矢野正一郎	佐伯市教育委員会 堅田学校給食センター 所長
野村 忠	竹田市教育委員会 竹田中央学校給食共同調理場 次長
野田 教世	玖珠町教育委員会 学校教育課 学校給食センター 参事
杉本 寛	中津市立山口小学校 校長
杓峯 典孝	豊後高田市立真玉中学校 校長
鹿島 幹男	国東市立来浦小学校 校長
横山つね子	別府市立鶴見小学校 校長
阿南 裕子	日出町立大神小学校 校長
佐藤 嘉郎	由布市立大津留小学校 校長
田鹿 福二	津久見市立第一中学校 校長
河野美和子	佐伯市立名護屋小学校 校長
高野 慎吾	佐伯市立東雲中学校 校長
堀 恵子	豊後大野市立千歳小学校 校長
穴井 房代	日田市立五馬市小学校 校長
渡邊留理子	九重町立淮園小学校 校長
影浦 康憲	中津市学校給食第二共同調理場 場長
榎本 久光	豊後高田市学校給食センター 所長
宇都宮敏樹	日出町学校給食共同調理場 場長
天野 秀幸	大分市学校給食明野共同調理場 場長
相澤 弘巳	大分市学校給食野津原共同調理場 場長
森 律子	由布市学校給食センター 所長
芝田 英範	臼杵市臼杵・野津学校給食センター 所長
戸高 節子	佐伯市本匠学校給食センター 所長
津田 智子	佐伯市蒲江学校給食センター 所長
佐藤 恵	豊後大野市三重学校給食共同調理場 場長
穴井 安夫	日田市学校給食センター 所長
安野 豊治	大分県立中津工業高等学校定時制 教頭

平成22年度 (財)大分県学校給食会主要行事予定表

期 日	行 事 名	会 場
2	学校給食用パン加工・炊飯委託工場指定交付式及び衛生管理講習会	大分県学校給食会
4 15	学校給食料理教室講師委嘱式及び第1回事務打合せ会	大分県学校給食会
16	第2学期分学校給食用冷凍食品選定会予備審査会	福岡県学校給食会
7	学校給食料理教室第2回事務打合せ会	大分県学校給食会
13	第2学期分学校給食用冷凍食品選定会合同選定会	福岡県学校給食会
5 17~21	会計監査	大分県学校給食会
24	大分県学校給食会 監事会	大分県学校給食会
27	第2学期分学校給食用冷凍食品県内選定会	大分県学校給食会
31	大分県学校給食会 第1回理事会、評議員会	大分県学校給食会
6 17	おおいた伝承料理講習会 (18日まで)	大分県学校給食会
29	新規採用学校栄養職員研修 (30日まで)	大分県学校給食会
7 29	中国・九州地区物資共同購入会議	福岡県学校給食会
8 26	第3学期分学校給食用冷凍食品予備審査会	長崎県学校給食会

期 日	行 事 名	会 場
9 16	第3学期分学校給食用冷凍食品合同選定会	福岡県学校給食会
初旬	中国・九州地区物資共同購入会議	福岡県学校給食会
10 下旬	第3学期分学校給食用冷凍食品県内選定会	大分県学校給食会
下旬	大分県学校給食会 第2回理事会	大分県学校給食会
11 初旬	第1学期分学校給食用冷凍食品予備審査会	佐賀県学校給食会
2	学校給食米飯調理講習会 (3日まで)	大分県学校給食会
12 上旬	第1学期分学校給食用冷凍食品合同選定会	福岡県学校給食会
中旬	中国・九州地区物資共同購入会議	鹿児島市
中旬	第1学期分学校給食用冷凍食品県内選定会	大分県学校給食会
1 25	大分県食育実践研修会・大分県学校給食振興大会	大分市
2 下旬	中国・九州地区物資共同購入会議	福岡県学校給食会
上旬	大分県学校給食会 第2回評議員会・第3回理事会	大分県学校給食会
3 中旬	学校給食用パン加工・炊飯委託工場選定審査会	大分県学校給食会

2学期選定品紹介

九州ブロック
共通選定品さつまポテト
(35g)さんま甘露煮
(30g、50g)もずく入五目厚焼卵
(40g)

物資選定委員会で
厳選いたしました。
多くのご使用をお
待ちしております。



県内選定品

解凍いらずのゼリー (マンゴー)
(50g)国産ボークしゅうまい
(28g)5種の具の入ったオムレツ
(50g)さけフライ
(60g)北海道産ほっけの竜田揚げ
(30g)たっぷり野菜のフィッシュカツ
(50g)国産鶏のフリッター
(40g、60g)さけかぼちゃサンド
(50g、60g)こっとり豆乳
(1ℓ)県産発芽玄米
(1kg)荒挽ミニカテルウィンナー
(1kg (5g/個))豆腐ミンチカツ
(40g、60g)九州産さばみりん漬け
(40g、60g)

編集後記

昨年の11月に第1号を発刊した「おおいた給食ふぁいと」も無事、3号を発刊することができました。号を重ねるにつれ、栄養教諭・栄養職員の先生方の食育に対する熱意が強く伝わってきます。そんな思いがぎゅっと詰まった「おおいた給食ふぁいと」には食育推進の手助けとなる大切な役割はもち

ろん、大分県下全ての栄養教諭・栄養職員の先生方にとって「元気の源」となる役割も担っていると感じています。これからも「おおいた給食ふぁいと」が元気・笑顔・そして、愛情いっぱい食育を進めていく原動力となれば嬉しいです。

編集委員 後藤彩